

# 宗像市環境基本計画の年次進捗評価方法について (案)

令和6年3月

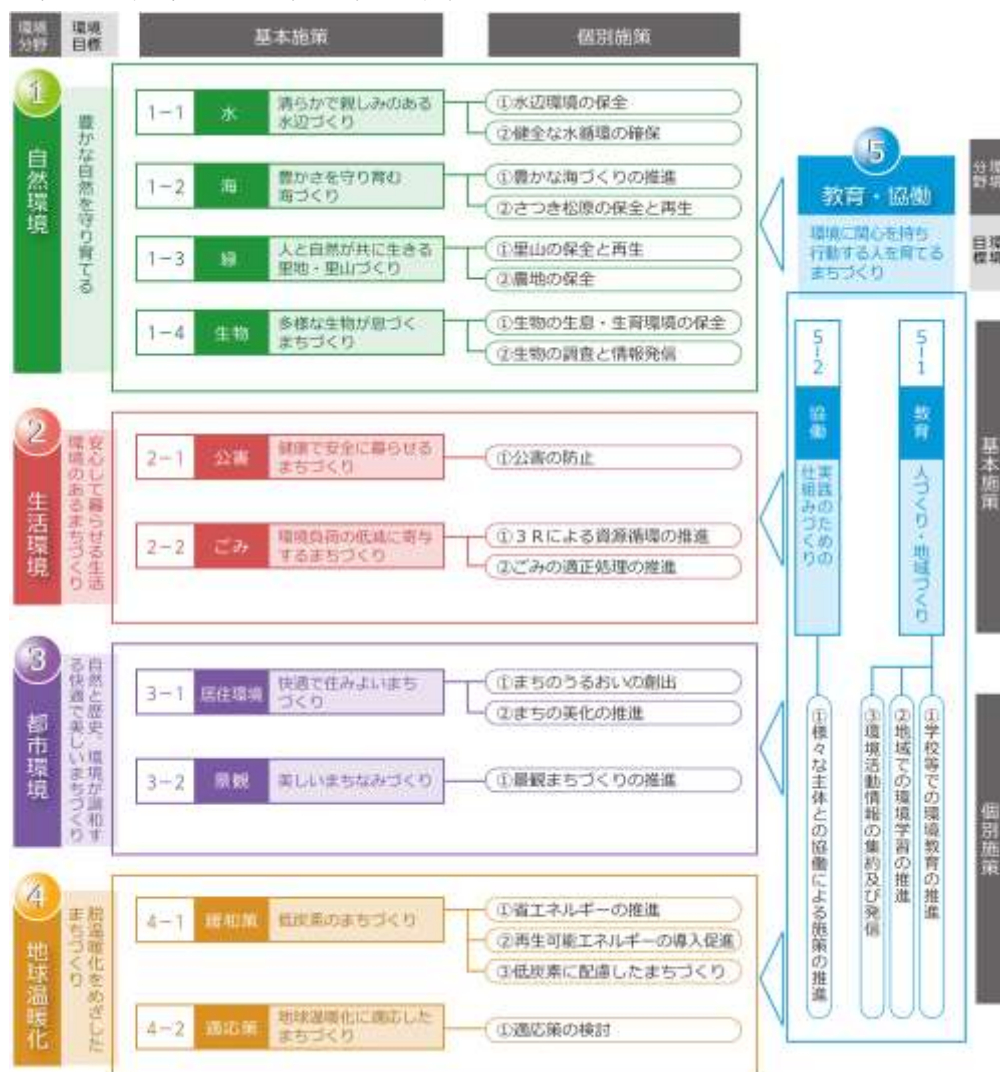
## 1. 計画の概要と進捗評価の目的

### (1) 計画の概要

宗像市環境基本計画（中間見直し）（以下「環境基本計画」という。）は、宗像市環境基本条例（平成15年宗像市条例第100号）第7条に基づき策定する計画であり、条例では環境の保全についての基本理念、市の施策を策定する際の基本方針等を定めているもので、環境基本計画はその基本理念の実現を図るための取り組みや推進体制を定めるものです。

環境基本計画では国連で採択された SDGs（持続可能な開発目標）の考え方を取り入れ、環境保全、経済の発展及び社会的課題の解決が図られた持続可能な社会を目指す計画です。本計画では『豊かな自然と歴史を活かし、ともに生きるまち 宗像』を目指す環境像として、「自然環境」、「生活環境」、「都市環境」、「地球温暖化」の4つの環境分野と、「教育・協働」の1分野を加えた5つの分野に分け、分野ごとに環境目標を掲げ、取組の方向性を示すとともに、施策体系を整理しています。

### 【参考】：環境基本計画の施策体系と関係する SDGs のゴール

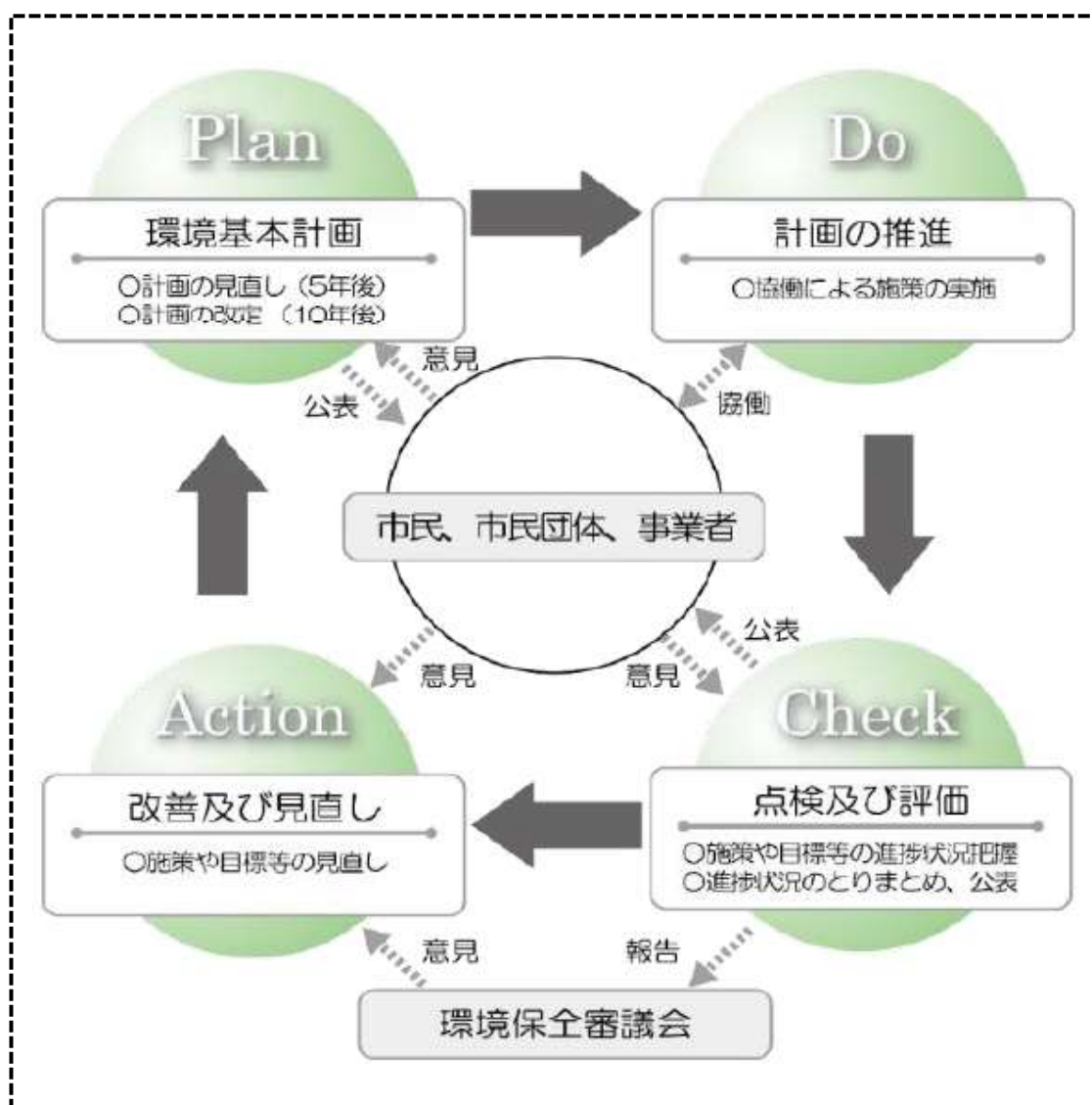




## (2) 進捗評価の目的

進捗評価の目的は、環境基本計画の実行性を確保し、同計画を着実に推進していくために、各分野の環境目標及び指標、基本施策、個別事業の取組状況を定量的、定性的に点検及び評価を行うものです。これは、「計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→改善（Action）」の PDCA サイクルに沿って実施することとしています。

【参考】：計画の推進体制及び進行管理（環境基本計画 P.85）



## 2. 評価手順

環境基本計画に基づき、以下の評価方法・手順により実施します。

### ①年度ごとの評価の実施

基本計画内の取り組み事業を担当する課において、進捗評価票（別紙）等、定められた方法に基づき、毎年度評価を実施。

### ②施策や目標等の点検・評価

①の評価に基づき、事務局が関係各課と調整し、計画の進捗状況について点検・評価を行います。

### ③環境保全審議会に報告

計画の進捗状況の点検及び評価結果については、宗像市環境保全審議会に報告し、意見をいただきます。

### ④報告の公表及び意見の収集

計画の進捗状況の点検、評価結果について、ホームページ等で公表し、市民、市民団体、事業者から意見を収集できるようにします。

### ⑤施策や目標等の見直し

意見や評価を踏まえて、必要に応じ、施策や指標値等の設定、見直しを行います。

### ⑥取り組み事業の実施



### 3. 評価の方法について

#### (1) 計画指標と目標値の進捗状況・評価について

基本計画で設定した計画目標及び目標値については、年度ごとの達成状況を確認します  
(一部年度ごとに確認できないものを除く。)

#### 【参考】数値目標の進捗状況

分野	計画指標	基準値 (基準年)	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	目標値 (目標年)
自然環境	川や池、海の水のきれいさに満足する市民の割合※1	44.8% (H28 年度)	—	—	—	—	46.4%	58.0% (R9 年度)
	水や水辺のふれあいに満足する市民の割合※1	33.9% (H28 年度)	—	—	—	—	39.9%	51.0% (R9 年度)
	自然景観の美しさに満足する市民の割合※1	63.8% (H28 年度)	—	—	—	—	64.3%	73.0% (R9 年度)
	緑とのふれあいに満足する市民の割合※1	59.4% (H28 年度)	—	—	—	—	60.2%	70.0% (R9 年度)
	生物多様性について知っているまたは聞いたことがある市民の割合	54.6% (H28 年度)	—	—	—	—	—	70.0% (R9 年度)
	野鳥や昆虫等とのふれあいに満足する市民の割合※1	46.8% (H28 年度)	—	—	—	—	51.4%	64.0% (R9 年度)
生活環境	環境基準達成率(釣川水質調査BOD)	100% (H28 年度)	100%	50%	100%	—	—	100% (R9 年度)
	環境基準達成率(道路騒音)	100% (H28 年度)	100%	100%	100%	—	—	100% (R9 年度)
	リサイクル率※2	25.9% (H27 年度)	26.2%	24.7%	24.4%	24.3%	—	30.2% (R6 年度)
	ごみ総排出量※2	32,350t (H27 年度)	31,195t	31,197t	30,329t	29,500t	—	28,423t (R6 年度)
都市環境	公園や野外レクリエーション地の充実に満足する市民の割合※1	45.7% (H28 年度)	—	—	—	—	46.7%	58.0% (R9 年度)
	ポイ捨てなどの散乱ごみの少なさに満足する市民の割合※1	35.0% (H28 年度)	—	—	—	—	47.8%	47.0% (R9 年度)
	ペットの飼いがよいと感じる市民の割合※1	32.0% (H28 年度)	—	—	—	—	42.5%	45.0% (R9 年度)
	まちなみが整っていると感じている市民の割合※1	53.0% (H28 年度)	—	—	—	—	51.9%	67.0% (R9 年度)
	海・山・川などの自然景観を貴重な財産として感じている市民の割合※1	92.0% (H28 年度)	—	—	—	—	—	95.0% (R9 年度)
地球温暖化	市内の温室効果ガス総排出量【計画目標年度】	560,626t-CO <sub>2</sub> (2013 年度)	379,491 t-CO <sub>2</sub>	379,052 t-CO <sub>2</sub>	—	—	—	437,289t-CO <sub>2</sub> (2027 年度)
	市民1人あたりの二酸化炭素排出量【計画目標年度】	5.63t-CO <sub>2</sub> (2013 年度)	3.72 t-CO <sub>2</sub>	3.62 t-CO <sub>2</sub>	—	—	—	4.56t-CO <sub>2</sub> (2027 年度)
教育・協働	学校授業での環境講座受講者数	1,183 人 (H28 年度)	1,608 人	921 人	753 人	703 人	—	1,800 人 (R9 年度)
	環境リーダー講座を受講した市民の数	55 人 (H28 年度)	23 人	未実施	未実施	未実施	—	—
	より良い環境づくりのための市民活動に参加協力した市民の割合	36.3% (H28 年度)	—	—	—	—	36.3%	65% (R9 年度)

※1 市民の満足度の現況値は「かなり満足」と「やや満足」と回答した人の割合で、目標値は市民アンケート調査(平成 28 年度)で「やや不満」と回答した市民の半数が満足すると仮定した割合(小数点以下四捨五入)

※2 ごみ総排出量は市民協働環境部環境課資料、リサイクル率は一般廃棄物処理事業実態調査(環境省)より整理。

## (2) 施策の評価について

基本計画の基本・個別施策の評価については、まず各取り組み事業について評価を行います。評価は取り組み事業担当課が、進捗評価票に以下の記載することにより評価を行うこととします。

- ①実績値
- ②実施状況
- ③今後の取組、課題
- ④その他（取り組み事業の実施によって派生した効果や影響など）

## (3) 評価方法

## ①取り組み事業毎の評価

取り組み事業毎に、5段階で評価します。評価基準は以下の表のとおりです。

## (事業の評価)

区分	評価
A	実績値が目標値を達成している又は上回っている
B	目標値には達成していないが改善がみられる、又は現状維持
C	目標値に向けたペースを下回っており、改善もみられない
D	未着手、年度内事業なし
－	数値が把握できないため判定不能

※数値目標等が設定されていないものについては、事業の実施状況等を踏まえ、施策の進捗状況を総合的に判断する。

## ②個別施策（施策の柱）の評価

個別施策（施策の柱）の評価は、個別施策の各取り組み事業の①評価をそれぞれ A=3点、B=2点、C=1点とし、平均点により評価する（D、－は計算に入れない。）。

平均点	評価
2.5以上	順調に進捗している
1.0以上2.5未満	概ね順調に進捗している
1.0未満	進捗が遅れている、見直し等の検討が必要

(イメージ)

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
水辺環境の保全	釣川クリーン作戦等の河川美化活動の実施	A(3点)	2点
	水辺の生き物観察会や水辺教室等の環境教育の推進	B(2点)	
	ホタルの生息状況の調査と市民への周知	B(2点)	
	水源林や里地・里山の適切な保全と管理	C(1点)	

## 【参考】施策の柱と取り組み事業一覧

## 自然

水辺環境の保全

- 1 河川美化活動事業(釣川クリーン作戦等)
- 2 環境教育推進事業(水辺の生き物観察会、水辺教室等)
- 3 ホタルの生育状況調査と市民啓発
- 4 水源林や里地・里山の適切な保全と管理

健全な水循環の確保

- 5 家庭・事業所における排水処理に関する意識啓発
- 6 釣川の水質検査の実施
- 7 上下水道施設における適切な水処理の実施
- 8 合併処理浄化槽の設置及び維持管理にかかる補助の実施
- 9 県と連携した河川改修及び適正な維持管理の実施
- 10 浸水地域の雨水排水路の整備と適正な維持管理

豊かな海づくりの推進

- 11 漁場環境の整備・再生
- 12 市民や事業者との協働による海岸清掃活動や海洋ごみ回収活動の推進
- 13 森林と河川の適切な管理・保全
- 14 海岸漂着ごみの回収体制の充実
- 15 新たな海洋環境問題に関する情報収集と対応
- 16 宗像市における OECM 認証制度(生物多様性の保全を継続的に見込める方法で維持管理されている特定の地域)導入可能性検討のための情報収集
- 17 ブルーカーボンとしての藻場の保全・造成

さつき松原の保全と再生

- 18 県との連携による松くい虫防除事業の実施



19 市民や事業者等との協働によるさつき松原保全・再生活動の推進  
里山の保全と再生

- 20 荒廃した森林の再生
- 21 森づくり活動の推進
- 22 森林の有する公益的機能の発揮に向けた取り組み
- 23 荒廃竹林対策

農地の保全

- 24 農業資源の保全活動の支援
- 25 遊休農地の適正な利用推進
- 26 後継者の育成

生物の生息・生育環境の保全

- 27 ホタルの繁殖活動及び飛翔状況に関する調査・情報提供
- 28 カノコユリに関する繁殖普及活動及び情報提供
- 29 有害鳥獣や特定外来生物の防御対策の推進
- 30 希少野生動植物種の保全

生物の調査と情報発信

- 31 自然環境調査の実施
- 32 自然観察会や体験学習会の開催

生活環境

公害の防止

- 33 PM2.5 や光化学オキシダントに関する市民への情報提供の充実及び警報・注意報発令時における迅速な対応
- 34 屋外におけるごみの焼却（野焼き）等への指導
- 35 次世代自動車などの低公害車の普及に向けた情報提供
- 36 公共交通機関の利用促進
- 37 釣川の水質検査の実施
- 38 市民、事業所、関係機関と連携した釣川の水質保全の取り組みの推進
- 39 家庭・事業所における適切な排水処理に関する意識啓発
- 40 市内主要道路 6 路線における自動車騒音監視
- 41 生活騒音に関する住民への啓発
- 42 発生源の適切な調査・指導の実施

43 苦情相談体制の充実

44 家庭用農薬、殺虫剤などの適正使用に関する啓発

45 本市管理施設における「宗像市管理施設における化学物質使用に関するガイドライン」の遵守

### 3Rによる資源循環の推進

46 分かりやすい情報提供と充実した啓発活動による 3R の推進

47 ごみの分別・排出ルールの徹底

48 食品ロス対策の推進

49 生ごみ減量の取り組み推進

50 事業所への減量化等計画書に基づく指導

51 事業系ごみの減量化・資源化の推進

52 資源物受入施設の利便性の向上と資源物受入箇所の拡充

53 地域における資源物回収の推進

54 バイオマス活用の検討

### ごみの適正処理の推進

55 ごみの分別・排出ルールの周知方法の改善と充実

56 効率的な収集・運搬の推進

57 高齢者などのごみ処理困難者への対応

58 市民や地域コミュニティとの連携によるパトロールの実施など不法投棄対策の充実

59 将来のごみ処理施設や体制のあり方に関する調査・検討の実施

## **都市環境**

### まちのうるおいの創出

60 公園等の整備と適切な維持管理

61 自然と調和したまちなみの形成に向けた取り組み

### まちの美化の推進

62 空き家・空き地の適切な管理の促進

63 公衆マナー順守を目指した意識啓発

64 アダプト活動の推進

65 ポイ捨てごみへの適切な対応

66 ペットの適切な飼養を目指した指導と意識啓発

67 飼い主のいない動物との適切な関わり方

### 景観まちづくりの推進

- 68 歴史・文化資源を活かした景観形成
- 69 地域特性に応じた景観形成
- 70 景観まちづくりへの関心を高めるための啓発活動、情報提供・PR
- 71 景観まちづくりの担い手の育成
- 72 「宗像市景観まちづくりプラン」「宗像市景観計画」等に基づく保全と整備
- 73 「宗像市屋外広告物条例」に基づく規制・誘導

## 地球温暖化

### 省エネルギーの推進

- 74 地産地消の推進
- 75 市民、事業者に対する省エネ行動や省エネ型設備・機器の更新の啓発
- 76 ZEH、ZEB の普及
- 77 環境性能に優れた次世代自動車の普及、充電・充填設備の設置拡大、エコドライブの実施

### 再生可能エネルギーの導入促進

- 78 市民・事業者の再生可能エネルギー導入推進
- 79 周辺の自然環境や生活環境に配慮した再生可能エネルギー設備導入の推進
- 80 より環境に配慮した電力の導入検討
- 81 地域脱炭素化促進事業の対象となる区域（促進区域）の設定検討

### 地域環境の整備と改善

- 82 公共交通機関の利用促進、コンパクトシティ化
- 83 デマンド型の交通サービス、コミュニティバス、シェアリングサービスを組み合わせた複合型の地域公共交通サービスの確立
- 84 エネルギーサービス事業者（地域新電力）の設立検討
- 85 住宅・事業所などの緑化や生け垣の整備・管理の促進
- 86 荒廃森林対策
- 87 ブルーカーボンとしての藻場の保全・造成

### 適応策の推進

- 88 高温耐性品種への切り替えや高温障害対策に関する情報提供
  - ・水源林や里地・里山の適切な保全と管理（Ⅰ. 自然環境の取り組みの再掲）
  - ・上下水道施設における適切な水処理の実施（Ⅰ. 自然環境の取り組みの再掲）
  - ・自然環境調査の実施（Ⅰ. 自然環境の取り組みの再掲）
  - ・有害鳥獣や特定外来生物の防御対策の推進（Ⅰ. 自然環境の取り組みの再掲）

89 水害リスクの軽減を図る計画的な施設整備の実施

90 宗像市地域防災計画に基づく災害予防、災害応急対策、防災活動の実施

91 熱中症や感染症に関する情報提供

92 宗像市国土強靱化地域計画に基づくインフラ、ライフラインの強靱化推進

## 教育

### 学校等での環境教育の推進

93 体験型環境教育の推進

94 市の特色を生かした環境教育プログラムの提供

95 学校授業への講師（専門家、市民、市職員等）派遣

### 地域での環境学習の推進

96 多様な環境プログラム・教材の提供

97 市民を対象とした環境イベントの開催

98 コミュニティや公民館等での環境学習の推進

99 環境学習に関する情報発信の強化

100 将来の環境活動を担う人材の育成

### 環境活動情報の集約及び発信

101 環境調査や環境活動に関する情報の集約と管理

102 市の公式ホームページなどを利用した環境情報の発信

103 情報の受け手に応じた新たな発信方法の検討

### 多様な主体との協働による施策の推進

104 多様な主体と連携・協働による事業の実施

105 協働化提案制度の積極的な活用

106 地域の環境活動を担う人材との連携